防災マークの理解を通して、命を守るための適切な行動について考えを深める事例

災害

小学校　第３学年　国語科

授業づくりのポイント

○避難訓練の事後指導において防災教育教材　防災ノート「東京防災」等を活用し、防災意識を高め家庭での災害への備えについて考えさせる。
○身近な記号について調べ、報告文にまとめる国語科の学習において、防災マークについての関心を高め、家族で話し合うことの大切さについて気付かせる。
○防災マークの意味と重要性を理解することを通して、災害から身を守るための方法について考えることができるようにする。

単元について

１　単元名　「ほうこくする文章を書こう」

２　目　標

防災に関わる表示や看板について理解を深め、発災後の身の守り方について考えることができるようにする。

３　教材化の視点

今後３０年以内に、東京においてマグニチュード７以上の地震が発生する確率が７０％程度と予想されている。このような状況から、子供たちにも様々な災害発生時における危険と適切な対処について理解し安全な行動ができるようにすることが求められている。そのためには、安全指導日や避難訓練の事前、事後指導等において、災害時の適切な行動や災害への備えについて指導を行っていくことに加え、適切な意思決定や行動選択ができるようにするために学習を通して、じっくりと考え、深め、追究させることが必要であると考えた。

指導計画（１１時間扱い）

次	時間	主な学習活動	安全教育の視点に立った留意点
一	1	○生活の中にある記号について話し合い、記号について調べて「家族に報告する文章を書こう」という学習課題を設定する。	◎たくさんの記号に出会わせる中で、防災マークについても意識を向けさせる。
	2	○学習計画を立てる。 ○たくさんの記号の中から調べたい記号を決める。	◎「非常口」、「避難場所」、「避難所」の記号の類似性について気付かせ、意味の違いに関心を向けさせる。
二	3・4	○身の回りの記号について調べる。	◎「避難場所」と「避難所」の共通点や相違点についても調べられるように声掛けをする。
	5・6	○報告する文章の構成を知る。	

	7 8	○報告する文章を書く。 ○下書きを読み合い、よりよい書き方を考える。	
三	9 １０	○報告する文章を友達と読み合い、意見や感想を伝え合う。	◎発災時に備え、防災マークの意味を知り、災害から身を守る方法を考えておくことの重要性について伝える。 ◎災害発生時の自己の役割について考えられるようにする。 ◎家族に報告することを伝える。
四	１１ （本時）	○防災マークについての報告する文章から、その意味と重要性について知り、地震発生時の適切な行動について考える。	

指導事例（第１１時／１１時間）

１　ねらい

命を守るための防災マークについて理解し、発災後の適切な行動について考えることができるようにする。　【Ⅲ－２－②、Ⅲ－７－③】

２　ポイント

○国語科の単元「気になる記号」において学習することで、災害安全を身近に捉え、自分や他者の安全を守るための行動についてじっくり考えられるようにする。

○防災ノート等を活用し、家庭における児童の主体的な活動を促し、家庭との連携を図ることで、災害時の適切な行動について、考えを深められるようにする。

３　指導の実際

	学　習　活　動	◎支援・留意点　■評価
導入	○自分たちで調べて報告書にまとめた記号の意味や重要性について振り返る。 ○掲示されたマークについて、見たことがあるものや、意味について知っているものについて話し合う。 ○友達から、報告文についての説明を聞く。 **命を守るためのマークには、どのようなものがあるだろうか。**	◎身の周りにもたくさん表示があったことを思い出させ、マークの意味について関心をもつようにする。 ◎絵や簡単な言葉だけで表していることが分かるようになっていることに気付けるようにする。 ◎防災マークを取上げ報告する文章を書いた児童に、取上げた理由を説明させ、命を守るマークについて関心をもたせる。
展開	○①から④までの防災マークが表している意味を考え、発表する。 ① ② ③ ④ 〈予想される児童の反応〉 ①学校やスーパーで見たことあります。このマークは「非常口」を表しています。	◎防災の意味を説明し、様々なマークの中から防災マークに目を向けさせるようにする。

	②緑色と人が走る絵とが同じなので、避難する場所を表していると思います。 ③逃げている人が家のような物に入ろうとしているから、避難する建物だと思います。 ④黄色は警告や注意を表しているから「津波に注意」だと思います。 ○地域にある防災マークを示し、その場所にできた理由を考え、話し合う。	 ◎防災マークがその場所にできた理由を考えることで、防災マークの重要性に気付かせるようにする。 ■命を守るための防災マークを知り、防災マークがその場所にできた理由を考えることができたか。（発言・ワークシート）
まとめ	○本時の学習を振り返る。 防災ノート（小学生１～３年生版）Ｐ９「避難することになったらどうしますか？」を読み、発災後の行動について話し合う。	◎発災後に家族と避難するところや家族との連絡方法について、家族と一緒に話し合うことの大切さについて知らせる。

4　児童の感想から

○国語の授業で勉強した記号やマークが震災が起こったときには、自分の命を守ることに役立つなんてとても驚きました。家に帰り、防災マークが近所のどこにあるのかを家族と確認しました。

○今日の授業を受けて、私たちの近くにもたくさんの防災マークがあるということが分かりました。また、防災マークの意味やある場所を知っているだけで、いざという時に自分の命を守れるんだと思いました。今回勉強したことを家族に話をして、町内の防災マップを一緒に見て確認しました。

○地震などの災害は、いつ起こってもおかしくない身近なものだと感じました。その日の下校中にどこに防災マークがあるのかを確認しながら帰りました。そして、家族ともし災害が起きた時のために避難所や避難経路、緊急時の連絡の取り方を家族と話し合い決めました。

児童の変容

○学習した内容について、家庭でも話合い家族と一緒に近所の防災マークを調べるなど、防災についての意識が高まった。

○地震などの災害に備え、避難所や避難経路を家族と一緒に確認したり、緊急時の家族との連絡方法について家庭で話し合ったりするなど、災害への備えについて具体的に実践することができた。